



つらい経験を「宝物」に変えるということ
——生徒の“気づき”が生まれる瞬間を信じて

校長 紙屋貴志

中学生の心には、大人が思う以上に深い揺らぎがある。テストの点数に肩を落とし、部活動の敗北に悔しさを噛みしめ、友人関係の変化に胸を痛める。私たちから見れば些細に映ることでも、彼らにとっては日々の価値観を揺らす大きなできごとだ。その痛みを、すぐに「成長の糧」と結びつける必要はない。ただ、生徒の心に芽生える小さな変化を見逃さないまなざしだけは持っていたい。

心理学には、逆境を経験した後に価値観が深まる現象を「PTG（トラウマ後の成長）」と呼ぶ考え方がある。とはいえ、つらい体験が自動的に成長を生むわけではない。むしろ多くの場合、そこに明確な意味や成果を求めすぎると、生徒の心は硬く閉ざされてしまう。必要なのは、生徒自身がふとした拍子に「あの出来事、もしかしたらこう考えられるかもしれない」と感じられる、そんなささやかな心の揺れだ。

では、生徒はいつ、その“気づき”に出会うのだろうか。本校で取り組んでいるキャリア教育や、町で行う「夢授業」は、まさにその出会いの場として機能している。これらの授業は、失敗体験を掘り下げるための時間ではない。むしろ、さまざまな大人の話や異なる価値観に触れることで、生徒が「自分にもこうした生き方があるかもしれない」と自然に視野を広げるための場である。

授業後、生徒のノートをめくると、意外な言葉が並ぶことがある。「あの仕事、かっこいいと思った」「私の経験にも少し似ている気がした」。深い分析もない、単純な一行の感想。しかし、その一行の奥に、本人にしかわからない“小さなつながり”が確かに存在する。つらかった出来事を無理に肯定しなくていい。語り直す必要すらない。しかし、別の価値観と出会うことで、過去の経験が少し違った角度から照らされることがある。こうした自然な照射こそ、学校教育の醍醐味ではないだろうか。

生徒の中に芽生える「これをやってみたいかもしれない」「この生き方が好きだ」という思いは、派手ではない。だが、それは紛れもなく“コーリング”——自分の未来への静かな呼び声のようなものだ。大人のように壮大な使命感ではなく、小さな関心、ささやかな憧れ。それで十分である。

つらい経験も、キャリア教育も、夢授業も。それぞれは独立した出来事にすぎない。ただ、どこかのタイミングでふとつながり、生徒が自分の未来を自分の言葉で語り始める瞬間が訪れる。その瞬間を急がせることはできない。信じて待ち、静かに伴走するしかない。

生徒が自分なりの“宝物”を見つけるまでの道のりは長い。しかし、その歩みを照らす小さな気づきの灯を、私たち教師は決して見逃さずいたい。そんな思いで日々の教室に立っている。

弁論・ショートスピーチ大会

11月7日（金）、龍南中学校で龍郷町の弁論・ショートスピーチ大会が行われました。本校からは、学習発表会で発表した安宅湊陽さん、辺木風沙さん、眞俐咲さんの3名が出場しました。その中で、辺木風沙さんが最優秀賞を受賞し、龍郷町の代表として12月11日（木）に宇検村で開催された日本復帰記念第38回大島地区中学校弁論・ショートスピーチ大会にも出場しました。風沙さんは、英語の村山先生やALTのマイケル先生とともに、寸暇を惜しんで練習に励んでいました。その努力が実を結び、大島地区大会では見事に優秀賞を受賞しました。本当におめでとうございます。



P T A ・親子バレー

11月20日（木）に、授業参観・学校保健委員会・学級PTAが行われました。5時間目の授業参観では、保健体育のバレーボール学習の直後ということもあり、親子での試合を行いました。和やかな雰囲気の中、笑顔あふれる楽しい時間となりました。

また、学校保健委員会では、元治歯科医院の元治啓太郎先生をお招きし、御講話いただきました。先生からは、「歯は放っておいても治らず、治療には保護者の関わりが必要であること」、そして「近くに歯科医院がない地域では、保護者の役割がより重要になること」など、大切なお話をしていただきました。保護者の皆様が熱心に耳を傾け、深くうなずかれる様子が印象的でした。



人権教室

12月3日（水）に教育長の碓山和宏先生をお迎えし、人権に関する御講話をいただきました。生徒たちが飽きずに聞けるよう、さまざまな本や実際の出来事を紹介しながら、「思い込み」や「決めつけ」、「偏見」が自分の中にないかを問いつける内容でした。また、龍郷町が目標としている「自己肯定感の向上」についても触れられ、生徒たちにとって深く考える機会となりました。



新入生説明会

12月4日（木）に、本校区内の来年度新入生にあたる小学6年生9名とその保護者の皆様に、新入生説明会に御参加いただきました。児童の皆さんは、ジャージ等の採寸を終えた後、校舎内を見学したり、先輩たちの授業に興味深そうに参観したりしていました。中学校生活への期待が、少しずつふくらんでいったのではないのでしょうか。来年度の新しい龍北中学校の姿が、ほんの少し垣間見えたような一日でした。



I R 研修

12月12日（金）の午後、龍北ブロックのI R研修が行われ、村山篤志教諭が2年生を対象に英語の研究授業を実施しました。9月に行った研究授業をさらに洗練させた内容で、生徒の皆さんも自由進度学習にしっかり対応し、自ら課題を選んで生き生きと学習に取り組んでいました。

当日は、龍北中校区以外の先生方も多数来校され、授業後のI R研修では活発な意見交換が行われ、私たち教職員の学びをさらに深めることができました。

授業後、生徒の皆さんからは「緊張して声も出ないし動けなかった」「精一杯やりきりました!」といった声が聞かれ、真剣に授業に向き合った様子うかがえました。



1月の主な行事

- 8(木) 3学期始業式
第4回3年実力テスト(～9日)
- 14(水) 3年公立高校願書記入
- 15(木) 鹿児島学力・学習状況調査(1年～16日)
- 16(金) 英語検定
- 20(火) 鹿児島学力・学習状況調査(2年～21日)
- 22(木) 町教委訪問(龍北中)

★ 先日の家庭教育学級(親子調理)御参加ありがとうございました。来月号での御紹介となります。インフルエンザが流行しているため、手洗いうがいの励行を。よい年末年始をお迎えください。

